

令和5年度 自治体DX調査特別委員会 運営方針

1 調査の目的

自治体の情報システムの標準化・共通化、自治体における行政手続のオンライン化等DXに関する諸問題について、総合的に調査し対策を検討する。

2 調査のテーマ及びその内容

(テーマ) 誰一人取り残さない、全ての区民に優しい、“すみだ”らしいDXの推進等を図る。

(内容)

令和4年6月7日に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」では、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を目指し、国、地方公共団体、民間事業者等が連携・協力しながら、各分野のデジタル化を推進していくこととしている。

現在、区では、令和4年度から令和7年度までの4か年を計画期間とした「墨田区行財政改革・行政情報化計画」に基づき、多角的・複合的に区民サービスの向上に資する取組を進めるとともに、全職員向けのDX人材育成研修の実施に注力するなど、来るべきDX社会に向けて準備を進めているところである。

今年度、本委員会では、本区における自治体DXの現状と課題を明確にした上で、区民が求める自治体DXを展開していくための土台づくりを進めるとともに、「人、つながる。墨田区」というキャッチコピーに込められた、「人と人とのつながり」を大切にしていきたいという想いに寄り添い、“すみだ”らしいDXの推進等を図るため、必要な提言を行う。

3 調査期間及びスケジュール

- | | |
|-------|--|
| 6月下旬 | ・特別委員会運営方針（本書）を決定 |
| 7月下旬 | ・本区における情報システムの標準化・共通化、行政手続のオンライン化等DX化の現状について説明を聴取し、質疑等を実施 |
| 8月下旬 | ・自治体DXについて先進自治体への行政調査を実施 |
| 10月中旬 | ・自治体DXについて研修会を開催 |
| 12月下旬 | ・行政調査及び研修会における情報を整理し、質疑等を実施 |
| 1月下旬 | ・本区における情報システムの標準化・共通化、行政手続のオンライン化等DXの在り方について各会派等から意見等を聴取し、政策提言の方法等について協議 |
| ↓ | ・政策提言の取りまとめ |
| 3月中旬 | ・区長等に対する政策提言を実施 |
| 3月下旬 | ・特別委員会活動報告を作成 |

4 調査の手法等

項 目			実施予定
先進自治体等への行政調査			○
議会基本 条例関連	13条	委員間討議	○
		議事堂以外での委員会開会	
		区民等との意見交換会等	
	14条	条例案の提出その他の政策立案及び政策提言の積極的な実施	○
	20条	公聴会及び参考人制度の活用	
		学識経験者等による専門的事項に関わる調査	
		議会のパブリック・コメント	
23条	委員会における研修会	○	

《概要》

<p>1 先進自治体等への行政調査 自治体DXの先進自治体の取組について、行政調査（視察）を実施する。 【視察先（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県盛岡市 「盛岡市行政デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の策定経緯と当該計画に基づく各種事業実績等について ・宮城県仙台市 「仙台市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の策定経緯と当該計画に基づく各種事業実績等について <p>2 委員間討議 委員会においては積極的な委員間討議を行うとともに、政策提言の取りまとめに当たっては勉強会を開催するなどして、委員会としての合意形成に努めていく。</p> <p>3 条例案の提出その他の政策立案及び政策提言の積極的な実施 本委員会の調査・検討結果を区政へと反映するため、委員会として政策提言を実施する。政策提言の方法等については、調査・検討内容等を踏まえて、委員会において協議し決定する。</p> <p>4 委員会における研修会 自治体DX推進等について見識を深めるとともに、本区の実態を把握するため、有識者等を講師に招き、研修会を開催する。</p>

※ 本運営方針に記載の内容は予定であり、やむを得ず変更することがあります。